

一般社団法人 日本医療福祉建築協会 〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館
 TEL:03-3453-9904 FAX:03-3453-7573 <http://www.jiha.jp>

医療福祉建築フォーラム 2012 開催案内

本協会では、毎年いくつかのトピックに関する情報提供を土台に、研究・計画・設計者と他分野の方々が「ともに学び、ともに考える」場として「医療福祉建築フォーラム」を2日にわたり開催しています。

本年度は、医療福祉の最新潮流・動向や先端技術等に関する講演と対談・鼎談に加え、東日本大震災を振り返り医療福祉施設を考えるシンポジウムを企画しました。また、急性期医療施設を取り巻く患者の重症化や高齢化等の昨今の状況を鑑み、これからの病院建築を考えるシンポジウムも取り上げます。

みなさまお誘い合わせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

- 会 期 2012年9月27日(木)・28日(金)
 会 場 建築会館ホール (東京都港区芝 5-26-20)
 主 催 一般社団法人日本医療福祉建築協会
 定 員 120名 (定員になり次第しめきります)
 参加費 一般: 35,000円 JIHA 会員・会友: 20,000円
 申し込み 1) 参加申込書にご記入の上、FAXにてお申込み下さい。
 (HPでも申込み可 <http://www.jiha.jp>)
 2) 折り返し参加費を記載した受付票をFAXします。
 3) 受付票が届き次第、参加費をご確認の上、指定口座にお振り込み下さい。
 4) 入金を確認され次第、領収書と参加証をお送りします。



日本医療福祉建築協会事務局 〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館
 TEL: (03) 3453-9904 FAX: (03) 3453-7573

“医療福祉建築フォーラム”参加申込書

日付: 2012年 月 日

一般・JIHa 会員・JIHa 会友 (○を付して下さい)

法人名			
所在地	〒		
担当者		部署	
TEL		FAX	

参加者名	参加者名

日本医療福祉建築協会 行 FAX (03) 3453-7573

医療福祉建築フォーラム 2012 プログラム

第1日 9月27日(木) 9:00 開場

9:30-9:35	会長あいさつ 河口 豊 (一般社団法人 日本医療福祉建築協会 会長)
9:35-10:35	講演: 成長を加速させる医療産業集積のその後の動向 松山 幸弘 (キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹)
10:45-11:45	講演: 最先端の放射線治療 河内 清光 (公益財団法人 医用原子力技術研究振興財団 常務理事)
11:45-12:45	昼食休憩
12:45-16:30	シンポジウム: 東日本大震災を今振り返って 医療福祉施設を考える 五十嵐 徹也 (筑波大学附属病院 病院長) 笥 淳夫 (工学院大学 建築学部 教授) 後藤 孝浩 (石巻赤十字病院 管財課 課長) 鈴木 明文 (伊藤喜三郎建築研究所 取締役 環境技術部長) 司会: 河口 豊 (滋慶医療科学大学院大学 教授)

第2日 9月28日(金) 9:00 開場

9:30-10:30	講演: 国際病院評価機構 J C I による医療の品質改善と病院 <small>ちかゆき</small> 落合 慈之 (NTT東日本関東病院 院長)
10:40-12:00	鼎談: 地域包括ケアと高齢者居住 辻 哲夫 (東京大学高齢社会総合研究機構 教授) 秋山 正子 (ケアーズ白十字訪問看護ステーション 代表取締役所長) 聞き手: 井上 由起子 (日本社会事業大学 専門職大学院 准教授)
12:00-13:00	昼食休憩
13:00-15:20	シンポジウム: 病院のスタンダード ~新しい設計提案への道~ 堀 賢 (順天堂大学大学院 感染制御科学 准教授) 斎藤 ゆみ (獨協医科大学大学院 看護学研究科 教授) 横井 郁子 (東邦大学 看護学部 教授) 川島 浩孝 (共同建築設計事務所 常務取締役) 司会: 中山 茂樹 (千葉大学大学院 工学研究科 教授)
15:30-16:30	対談: 事業者と設計者の協働 ~南生協病院~ 成瀬 幸雄 (南医療生活協同組合 専務理事) 橋高 宗平 (日建設計 設計部門 デザインパートナー)

(公社) 日本医業経営コンサルタント協会「医業経営コンサルタント」継続研修: 11.0時間 (予定)
建築CPD (継続能力/職能開発) 情報提供制度認定プログラム (予定)

* 講師敬称略、テーマ・講師は変更されることがあります。

JIHa ユースクラブ 2012 : 4期生の参加者募集

2007年に発足したJIHa ユースクラブは、1期(2007年度)に11名、2期(2008年度)に9名、3期(2010年度)に12名の参加者がコースを修了しました。

若手・中堅会員の計画・設計スキルアップや組織の枠を越えたネットワーク作り、そして著名な研究者や設計者との交流、講義からの修得や他社の取り組み方にも接することができたこと、これまでの参加者には好評でした。

さて、隔年開催の本年はプログラムを下記の通りとし、このたび4期生を募集致します。若手・中堅実務者を対象とし、参加型の少人数登録制として、毎月1回土曜日に行う方針はこれまでと同様とし、参加費も据え置き大変参加しやすくなっています。

なお、計画・設計系だけでなく、運営・看護系の方の参加も歓迎致します。ふるってご参加ください。

世話人一同

記

JIHa ユースクラブ 2012 : 4期生

- 参加資格** JIHa 会員、会友
* A会員・会友の法人に所属される方も参加資格がございます。
* 自薦・他薦は問いません。
- 定 員** 15名程度
- 参加方法** 登録制（代理・交代出席は不可）
- 参加費** 60,000円（5回通し：交流費は含みません）
- 世話人** 糸山剛（竹中工務店）、川島浩孝（共同建築設計事務所）、千種幹雄（昭和設計）、藤記真（日建設計）、小菅瑠香（国立保健医療科学院）～世話人は原則として毎回出席予定
- テ ー マ** 全個室病棟を考える
- 企画内容** 下記の5回。施設見学は足利赤十字病院（栃木県足利市）を予定。毎回、終了後に交流会を致します。（企画は若干変更されることがあります）
- ① **実作をプレゼンする** 10月20日(土) 13:00-17:00 [会場：建築会館]
初回は自己紹介を兼ねてご自身のたずさわったプロジェクト（計画・設計等）を紹介して頂き、これにつき意見交換します。（プレゼン10分+質疑5分）
 - ② **急性期病院の現場から深く学ぶ** 11月17日(土) 11:00-16:30 予定
足利赤十字病院の見学（設計者による案内）を兼ねて、現場でスタッフやコーディネーターのお話を伺いながら、高度な急性期医療を展開する病院と全個室病棟につき、事例を通して深く学んで頂きます。
[コーディネーター：小菅瑠香氏、三浦雅博氏]
 - ③ **課題設計を行う・前編 ～エスキス編～** 12月8日(土) 13:00-17:00 [会場：日建設計]
1組3人程度のグループに分かれて、課題設計に取り組んで頂きます。まずコーディネーターによる基本構想ガイダンスを受けて頂きます。ガイダンス終了後、協力して打合せやエスキス作業を行って下さい。各グループには世話人が参加してアドバイスします。最後にコーディネーターや世話人を交え、全員で意見交換を行います。[コーディネーター：笈淳夫氏]
 - ④ **プロポーザルの審査をする** 1月19日(土) 13:00-17:00 [会場：共同建築設計事務所]
2～3グループに分かれ、公募型プロポーザルの応募作品の模擬審査を行います。作品を評価する側に立ち、選評まで書いてみることで、新しい視野が開けることを期待します。
[コーディネーター：中山茂樹氏]
 - ⑤ **課題設計を行う・後編 ～講評編～** 2月2日(土) 9:00-17:00 [会場：竹中工務店]
前編でつくった基本構想に従って、基本設計をして頂きます。午前中に設計をして頂き、午後に自作を発表、コーディネーターや世話人を交え、全員で批評しあいます。
[コーディネーター：山下哲郎氏]

建築CPD（継続能力/職能開発）情報提供制度認定プログラム

追 記 最終回に修了証を発行します。

※ 申し込み方法

- 1) 申し込み方法：E-mailに限ります。
- 2) 申込みの確認：お申込み頂いたものについては順次（午前中申込み分は当日中、午後申込み分は翌日午前中に）返信を致します。返信のない場合はE-mail等にてご確認ください。
- 3) 記入事項：件名「JIHa ユースクラブ 2012 参加申込み」①参加者名（生年月日・年齢）、②勤務先・部署、③電話番号、④E-mailアドレス、⑤〒・住所（返信先）を記載のこと。

日本医療福祉建築協会事務局 E-mail : jiha@mars.dti.ne.jp

～．

「会友」制度についてのご報告

運営委員会 委員長 山下 哲郎

平素より、当協会の活動にご協力頂きありがとうございます。

先般、協会の活動を広く事業者に向けて発信してゆくために行う会友制度試行のお知らせをいたしました。6月開催の講座「病院建築講座～施設整備をお考えの方に～」を受講されました41法人が「会友」として登録されましたので、ご報告いたします。

～．

平成24年度老人保健健康増進等事業の国庫補助協議の結果について

調査研究委員会 委員長 井上 由起子

当協会から申請をしておりました事業名「良質な特別養護老人ホームの建設コスト低減手法に関する調査研究事業」が平成24年度老人保健健康増進等事業としてこの度採択されましたので、ご報告いたします。

調査研究期間は、平成24年7月～平成25年3月。調査研究委員会のメンバーは以下の通りです。

委員長 井上由起子（日本社会事業大学）

委員 山脇博紀（筑波技術大学）、山崎敏（トシ・ヤマサキまちづくり総合研究所）、
佃悠（東北大学）、佐野伸（独立行政法人福祉医療機構）、服部敬人（伊藤喜三郎研究所）、
小島千知（共同建築設計事務所）

～．

サービス付き高齢者向け住宅事業化研修会

日時・会場 大阪：2012年9月21日（金）13：00～16：35（予定）
建設交流館8階「グリーンホール」（大阪市西区立売堀2-1-2）定員 250名

東京：2012年9月26日（水）13：00～16：35（予定）
住宅金融支援機構1階「すまい・るホール」（東京都文京区後楽1-4-10）定員 290名

プログラム 1. サービス付き高齢者向け住宅に関する施策動向／国土交通省・厚生労働省各担当官
2. これからの高齢者向け住宅のあり方について（仮題）／大阪：三浦研（大阪市立大学准教授）
東京：園田真理子（明治大学教授）
3. サービス付き高齢者向け住宅の契約に関する留意点（仮題）／矢田尚子（日本大学准教授）
4. サービス付き高齢者向け住宅の事業化のポイント（仮題）／小早川仁（学研コソファン代表）

参加費 一般 10,000円、財団賛助会員・出捐団体 7,000円（テキスト・資料代含む）

主催 財団法人 高齢者住宅財団 TEL:03-3206-6437 FAX:03-3206-5256

URL <http://www.koujuuzai.or.jp/>（申込書をダウンロードできます）